基本目標１　　思いやりの心を育む「ひとづくり」

活動目標②　[　ボランティア・地域福祉活動をすすめよう]

地域福祉計画
関連項目
基本施策１－４

■現状と課題

長門市社協のボランティア登録団体及び個人ボランティアは、様々な活動を行い地域福祉の重要な役割を担っています。しかし、会員の高齢化や後継者不足による活動の停滞や、ボランティアを担う人材育成が進んでいない状況があります。

市民へのアンケート調査では、「きっかけがあればボランティア活動に参加してみたい」という意見が全体の約半数の割合となっており、ボランティア活動のきっかけ作りや環境整備、人材養成につながる取組が必要です。その中で、ボランティア連絡協議会やボランティアグループの協力を得て、長門市内で活動している人々と知り合う機会を増やしていくネットワークづくりが求められます。また、「楽しさ」を中心とした活動企画の検討、実施や地域でできることを整理することも必要です。

■具体的な取組

	取組内容	取組チェック表		
		R4年	R6年	R8年
一人一人が取り組むこと	●地域福祉活動やボランティア活動に関心を持ちましょう。			
	●地域のボランティア活動を理解・把握しましょう。			
	●地域で行われている活動にとりあえず参加してみましょう。			
	●自分の趣味や特技を活かして活動に参加しましょう。			
地域みんなで取り組むこと	●無理のない程度でボランティア活動に取り組みましょう。			
	●ボランティア団体などの取組の内容を把握しましょう。			
	●地域の中でボランティア活動をする人を養成、支援しましょう。			
社協が取り組むこと	●社協だより、ホームページ、フェイスブックでボランティアに関する啓発及び情報発信をします。			
	●ボランティアの登録、相談支援、コーディネートを行います。			

	●ボランティア登録者に対し、ボランティア活動保険の保険料を一部補助します。			
	●気軽にボランティア活動ができるよう、ボランティアコーナーの充実に努めます。			
	●個人ボランティアやボランティア団体の育成・支援を行います。			
	●ボランティア講座を開催します。（夏休み手話講座等）			
	●ボランティア連絡協議会の活動を支援します。			
	●企業の社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動を支援します。			
	●山口県ボランティア交流会等県社協主催の行事や事業に積極的に参加します。			

■５年後の姿

●住民が地域福祉活動やボランティア活動への関心を高め、活動への参加が増えている。
●ボランティア活動へのきっかけづくりや環境整備がすすみ、自分のできる範囲で取り組む意識を浸透させることができている。
●地域にボランティア活動を支える体制ができ、活動をしたい人が積極的にボランティア活動に参加できている。
●「企業ボランティア活動推進モデル事業所」が増え、企業と共に地域でのボランティア活動が行えるようになっている。

■ボランティアとは？

自らの意志により（公共性の高い活動へ）参加する人のこと、又はその活動のことです。

活動の基本は、「自らすすんで行動する」「ともに支え合い、学び合う」「見返りを求めない」「よりよい社会をつくる」です。

ボランティア活動、登録、ボランティア保険に関する
問合せ先
長門市社会福祉協議会　地域福祉課　　電話：２２－８２９４